

株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
1単元の株式数	50株
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)
〔郵便物送付先〕	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〔電話照会先〕	電話 (03) 3323-7111 (大代表)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞

株式会社日本トリム



<http://www.nihon-trim.co.jp>

当社はホームページにおいても最新のトピックスを始め、業績報告や会社情報など、さまざまな情報をご案内しております。

第23期事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

株式会社日本トリム

財務ハイライト

		2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期
連結	売上高 (百万円)	8,807	9,761	10,100
	経常利益 (百万円)	1,922	2,213	2,405
	当期純利益 (百万円)	963	1,236	1,327
単体	売上高 (百万円)	8,807	9,761	10,100
	経常利益 (百万円)	1,809	2,226	2,393
	当期純利益 (百万円)	927	1,231	1,370

売上高(連結) (単位:百万円)



経常利益(連結) (単位:百万円)



当期純利益(連結) (単位:百万円)



CONTENTS

株主の皆様へ	1
事業ビジョン	3
トピックス	5
電解還元水の医療への応用	7
商品構成	8
連結財務諸表	9
単体財務諸表	11
株式の状況	13
会社の概要	14

将来の飛躍に向けて、トリムグループの新たなスタート

中長期的視野に立った積極的な事業展開を推進してまいります。



代表取締役社長

森澤 紳勝

株主の皆様へ

株主の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社の第23期事業年度（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）が終了いたしましたので、営業の概況についてご報告申し上げます。

当期においてトリムグループでは、ネットワークの更なる充実及び業容の拡大を目指してまいりました。当社営業部門では、創業来の特徴であり、収益・安定性の高い「直販部門」の強化に注力し、その結果、直販部門売上高が前期比10.2%増となりました。また、カートリッジ売上高が前期比37.5%増と飛躍的に成長し、今後も安定した成長を見込めるものと考えております。一方、製造原価の削減も奏功し、売上高原価率が前期比2.7ポイント減と改善した結果、売上高経常利益率が23.8%（前期比1.1ポイント増）となりました。

研究開発分野では、引き続き九州大学大学院等との「産学共同」研究を推進するとともに、当社グループの目指しております「医療分野への進出」に向けての第一歩として、昨年末に台湾にて世界初の人工透析用電解還元水整水器を出荷いたしました。一方、医療の現場と連携した「産病共同」の研究開発・事業展開を推進すべく、(財)田附興風会医学研究所北野病院（大阪市北区）と業務提携を結んでおります。

一方、米国連結子会社TRIMGEN CORPORATION（トリ

ムジンコーポレーション、異常遺伝子検索キットの研究開発・製造販売)におきましては、昨年、6本の論文を米医学誌に発表し、研究用キット3製品を世界26カ国で販売開始いたしました。

その他、事業基盤を拡充すべく、昨年4月に九州大学との産学共同連結子会社（株）機能水細胞分析センター(福岡市)を、同年10月には金融子会社（株）トリムフィナンシャルサービス(大阪市)を設立いたしました。

このような事業展開の結果、当社グループの当期の業績は、売上高、利益とも上場来6期連続で過去最高を更新いたしました。

今後の中長期的事業ビジョンとして当社グループでは、5、6年の期間で事業規模を一気に飛躍させたいと考えております。売上高100億円を達成した当期までを一つの区切りとし、第24期につきましては、その飛躍に向けての元年と位置付け、様々な分野に積極的な投資を行ってまいります。研究開発分野では、電解還元水の更なる機能解明を加速し、当分野において他社の追従を許さない体制を構築するため、九州大学大学院と新プロジェクト（期間：平成20年3月末まで、予算：約3億円）を立上げます。また、医療分野への本格的参入を目指し、治験等による医学的データの集積を、大学、病院等研究機関と規模を広げて推進するとともに、農業、工業への電解還元水の応用に向けた研究開発も進めており、

今後、水に関わるあらゆる分野への電解還元水の応用の可能性を追究すべく、「産学」・「産病」での共同研究を行ってまいります。

また、新たな事業展開といたしまして、住友商事グループと中国にて合弁会社設立（資本金：1億円、本年8月設立予定）につき合意いたしました。現地でのボトリング事業の展開も計画しており、数年後に約10億円の売り上げを見込んでおります。この度の中国進出をかわきりに、アジア、欧米へと本格的海外事業展開を目指してまいります。

一方、TRIMGEN CORPORATIONでは、今期中にASR（診断用試薬）登録をし、診断用試薬としての販売開始を目指すとともに、将来のFDA認可取得に向けて、研究開発及び製造管理システムの構築に注力してまいります。また、現在、近い将来のIPOを目指して動き出しており、そのために必要な財務強化、体制強化を、M&Aも視野に入れて積極的に推進してまいります。なお、同社では、2007年12月期に1億円の売上高を見込んでおります。

このように当社グループでは、グループ企業相互のシナジー効果を最大限発揮し、オンリーワン企業構築へ向け、従業員一丸となって、株主の皆様のご期待に沿うべく邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも相変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

安定した業績を基盤に、更なる飛躍に向けての投資を精力的に行い、積極的な経営を展開。

当社が、これまで取り組んできました電解還元水に関する研究が成果を得、医療への応用の実用化にも目途が立ってまいりました。このような状況のもと、第24期は、将来の飛躍に向けて、それらの成果を事業拡大に結びつけると共に、更に深く、広範囲に渡って電解還元水の機能を解明すべく研究開発を加速するため、積極的な投資、経営を行ってまいります。

電解還元水の医療・工業・農業への応用に向け、産学・産病共同の研究開発の推進。

電解還元水の様々な分野への応用に向け、国内外の大学等研究機関と産学共同研究を行っております。また、電解還元水の医療への応用の実用化に向けた研究開発を促進すべく、昨年9月に業務提携した北野病院等と、治験等による医学的データの集積など、医療の現場と連携した研究開発、事業展開を推進し、まずは人工透析、そして将来的には輸液への電解還元水の応用を目指してまいります。

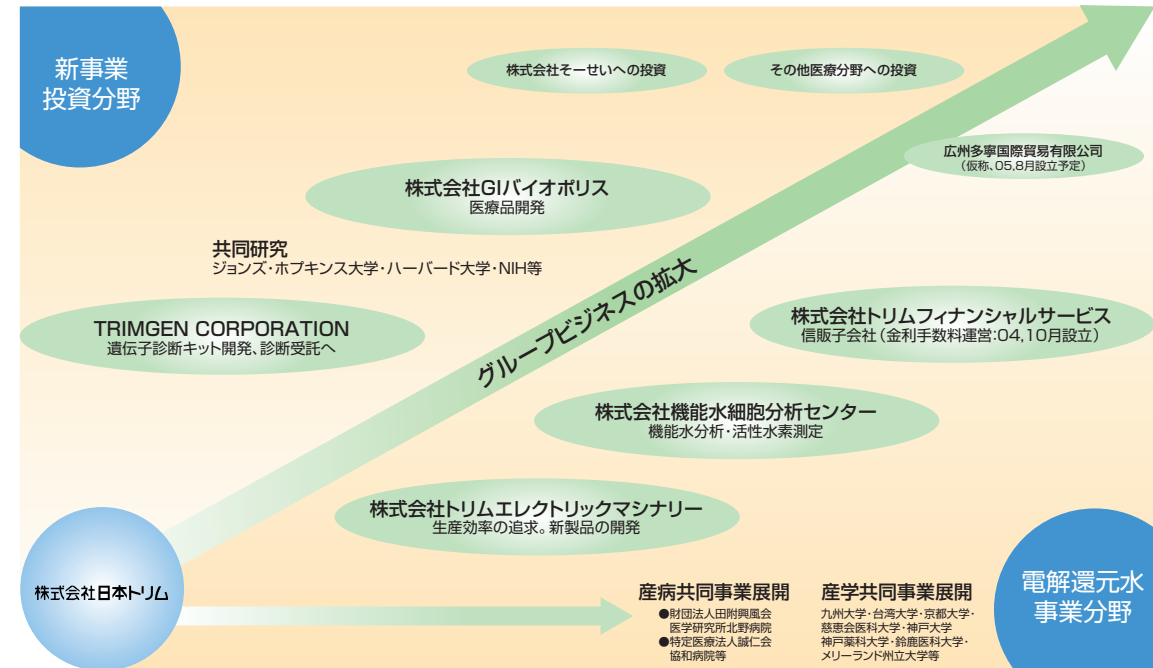
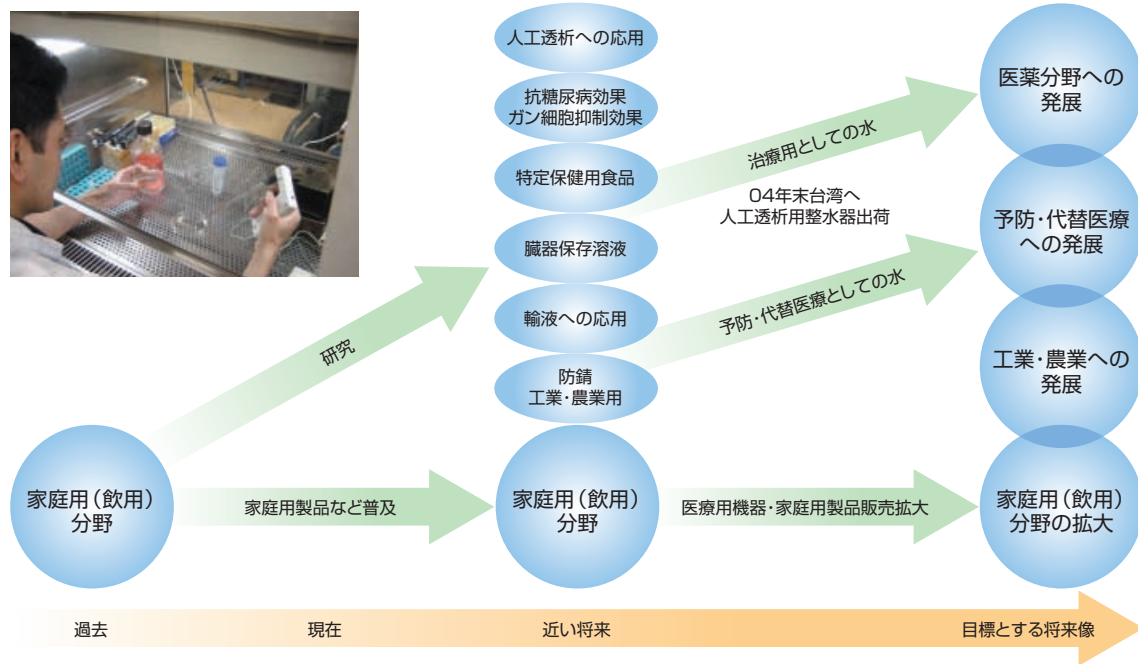
住友商事グループと中国市場へ進出。

中国における飲料水(健康)市場開拓を目的として、住友商事グループと合併会社「広州多寧国際貿易有限公司(仮称)」(資本金1億円) の設立に関して合意。中国において社会・経済の急激な発展による生活基盤の向上を背景として健康志向の高まる中、日本トリムの電解還元水事業のノウハウ・技術と住友商事グループのネットワーク・総合力で、中国で「水・健康ビジネス」へ進出、市場開拓してまいります。

TRIMGEN CORPORATION

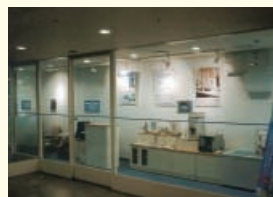
FDAの認可取得に向け、まずはASR(診断用試薬)登録により研究用から診断用試薬としての販売を今期中に目指すと共に、研究スタッフ(博士)の増員やGMP(製造管理規則)化といった体制強化に取り組んでまいります。また、将来のIPOを見据え、マーケティングに注力し、事業基盤確立のための財務強化や診断会社、検査会社とのM&Aも視野に入れた積極的な事業展開を行ってまいります。

電解還元水のステップアップ



北野病院（健康診断・トリムプラザ）

平成17年3月31日、財団法人田附興風会医学研究所北野病院（大阪市北区）1階に大規模医療機関内のPR施設としては業界初となる製品ショールーム（北野病院トリムプラザ）をオープンしました。電解還元水整水器（トリムイオン整水器）をはじめ、電解還元温泉器（トリムスバ）や家庭用電位治療器（らくらくメイト）など当社が研究開発した製品の良さを、実際に見てふれて体験していただくためのPR施設です。当社はすでに平成16年9月より、北野病院と業務提携を結び、「電解還元水」の医療分野への更なる応用を目指し、トリムイオン整水器をご購入の方に北野病院にて無料で健康診断を受診していただけるサービスを実施しています。今回のショールーム開設は、この業務提携を更に一歩進めたもので、病院内の当社事務局として、北野病院とより密接な連携を取ることにより、今後、病院との本格的な産病共同研究を展開していく予定です。



電解還元水の基礎研究を更に促進すべく、九州大学との新共同研究プロジェクトを立ち上げ

当社は、九州大学大学院農学研究院遺伝子資源工学部門細胞制御工学講座と、電解還元水研究の更なる研究開発の促進を目的に、これまでの共同研究を一歩進めた、新しい共同研究プロジェクトを立ち上げました。「高度な機能を有する還元水及びその製造装置の開発と医療・産業への応用」をテーマに、平成20年3月までの約3年間に、研究開発費用約3億円を投資。当分野で他社の追従を許さない体制の構築を目指します。

日経優良企業ランキング

総合145位 日本経済新聞社が独自の企業評価システムにより選出する2004年度「日経優良企業ランキング」において、今年度も当社は全国上場企業2,278社のうち総合145位（総合評価704点、平均を500とした評点）の上位ランクに選ばれました。個別項目でもウエートの高い収益性で42位/74点（100点満点、全体の評点を50点とした評点）、財務の安全性でも92位/74点を獲得。成長性も59点を確保するなど昨年度から連続して高い評価を受けています。

1.	武田薬品工業
2.	NTTドコモ
3.	セブンイレブン
⋮	
145.	三菱電機
145.	日本トリム
146.	ラウンドワン
148.	セコムテクノ

日本経済新聞社 2004年9月21日（火曜日）

第4回国際バイオEXPOに参加

第4回国際バイオEXPO（H.17.5.18～5.20、東京ビッグサイト）に日本トリムとTRIMGEN CORPORATIONが共同出展しました。TRIMGEN CORPORATIONでは、2つの新製品（Universal RNA Counter kit/遺伝子発現定量キット、Mutector kit Dual-well test formats/遺伝子突然変異検出キット）を発表し、革新的遺伝子研究用キットとして、多くの反響をいただきました。また、日本トリムからは、人工透析向け医療用電解還元水整水器HD-24Dを発表しました。HD-24Dは、第50回日本透析医学会学術集会・総会（H.17.6.24～6.26、パシフィコ横浜）にも出展いたします。



トリムライフサイエンス賞

ライフサイエンス部門の優秀なアイデアや研究成果を支援することにより、当研究の発展に寄与すること及び当社の理念である、人類の健康増進を通じて社会貢献することを目的として、「トリムライフサイエンス賞」を設立しました。研究発表論文を募集し、優秀な者に研究助成金の授与や支援を行います。第一回は、米国バイオ子会社TRIMGEN CORPORATION製品を有効利用した研究発表論文を対象とし、応募期限は平成18年2月20日迄。本年5月18日～20日に東京ビッグサイトで開催された第4回国際バイオEXPOで発表し、社会貢献への積極的な取り組みが大きな注目を集めました。



株式会社トリムフィナンシャルサービス設立

昨年10月、金融（信販）子会社を設立し、自社製品購入ユーザーに対する割賦販売業務を開始しました。創業以来「電解還元水整水器」の製造販売を主たる業務に、一般ユーザーへの直販体制を強みとする当社は、2000年にJASDAQ、2003年に東証二部、2004年には東証一部上場と、業績も順調に推移し、自社グループ内で信販業務を行うに十分な安定した契約件数を見込める時期に至ったため、自社による信販業務体制を導入いたしました。これまで信販会社に委託してきたユーザー信販契約のグループ内取り込みによって安定した金利手数料収益が見込め、有効な資金運用や顧客に対する柔軟な金利政策等、営業部門への有力な後方支援となると考えています。

人工透析向け医療用電解還元水整水器 HD-24D



人工透析向け医療用電解還元水整水器の国内市場
約400億円（当社試算）

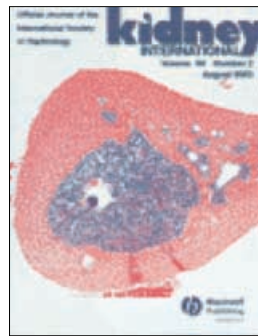
透析人口：237,710人

透析施設数：3,717施設

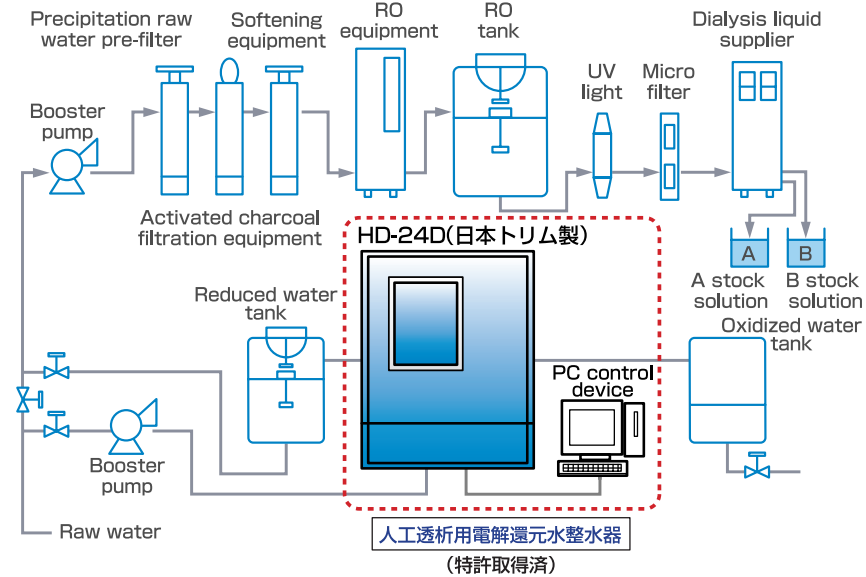
ベッド数：92,710床

日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」（2002年12月31日現在）

「透析による酸化ストレスを日本トリムの電解還元水により軽減」



※米国腎臓医学専門誌
Kidney Internationalにて発表



電解還元水整水器 87.5%

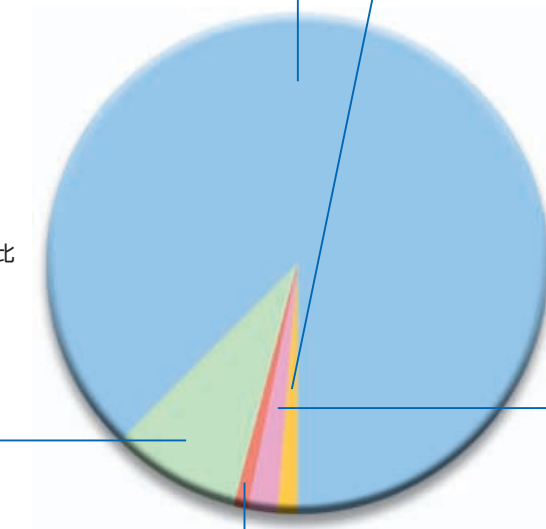


水道水に含まれる溶解性鉛・塩素等を大型カートリッジで除去し、更に電気分解によって抗酸化性を持つ電解還元水を常に安定的に生成する医療機器です。

電解還元温泉器 1.3%



水道水に含まれるカルキ(残留塩素)を除去し、更に電気分解によって還元性の温泉源泉に近い湯水に変える機器です。



カートリッジ 8.4%

抗菌活性炭使用浄水カートリッジ、中空糸膜使用鉛除去浄水カートリッジ等、各電解還元水整水器専用のカートリッジです。



その他 1.9%

富士山麓で採取した天然水を電気分解したボトルドウォーター「I'm fine」、機器部品、修理費等



電位治療器 0.9%

身体にとって大切なマイナスの電位を体内に帯電させることにより、不眠症・頭痛・肩こり・慢性便秘等を改善する医療機器です。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在		平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	7,299	6,049	流動負債	1,567	1,571
現金及び預金	5,356	4,182	支払手形及び買掛金	410	452
受取手形及び売掛金	1,303	1,208	未払法人税等	593	531
たな卸資産	439	521	賞与引当金	101	95
繰延税金資産	112	103	製品保証引当金	18	8
その他	86	34	返品調整引当金	16	13
貸倒引当金	△ 0	△ 0	その他	428	472
固定資産	3,982	3,916	固定負債	1,071	1,052
有形固定資産	3,304	3,332	退職給付引当金	172	154
建物及び構築物	858	890	役員退職慰労引当金	200	141
土地	2,380	2,380	預り保証金	468	495
その他	65	61	その他	230	261
無形固定資産	37	44	負債合計	2,639	2,623
投資その他の資産	640	540	少数株主持分		
投資有価証券	299	178	少数株主持分	3	—
繰延税金資産	92	127	資本の部		
その他	255	241	資本金	989	987
貸倒引当金	△ 7	△ 6	資本剰余金	983	972
			利益剰余金	6,629	5,485
			その他有価証券評価差額金	117	22
			為替換算調整勘定	△ 20	△ 13
			自己株式	△ 60	△ 112
			資本合計	8,639	7,342
資産合計	11,281	9,966	負債、少数株主持分及び資本合計	11,281	9,966

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)	(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)
売上高	10,100	9,761
売上原価	2,731	2,912
売上総利益	7,368	6,849
販売費及び一般管理費	5,151	4,713
営業利益	2,217	2,136
営業外収益	224	121
営業外費用	35	44
経常利益	2,405	2,213
特別利益	5	81
特別損失	57	62
税金等調整前当期純利益	2,354	2,232
法人税、住民税及び事業税	1,064	983
法人税等調整額	△ 38	12
当期純利益	1,327	1,236

連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)	(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)
【資本剰余金の部】		
資本剰余金期首残高	972	967
資本剰余金増加高	11	5
資本剰余金期末残高	983	972
【利益剰余金の部】		
利益剰余金期首残高	5,485	4,386
利益剰余金増加高	1,327	1,236
利益剰余金減少高	183	138
利益剰余金期末残高	6,629	5,485

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)	(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,322	1,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	32	△ 69
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 173	△ 261
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7	△ 10
現金及び現金同等物の増加額	1,174	808
現金及び現金同等物の期首残高	4,182	3,374
現金及び現金同等物の期末残高	5,356	4,182

単体貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在		平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	6,480	5,286	流動負債	1,319	1,289
現金及び預金	4,994	3,874	買掛金	265	268
受取手形	33	7	未払金	205	212
売掛金	1,183	1,201	未払費用	67	57
製品	45	40	未払法人税等	574	507
前払費用	38	31	未払消費税等	29	81
繰延税金資産	103	97	賞与引当金	92	87
その他	82	36	製品保証引当金	18	8
貸倒引当金	△ 0	△ 1	返品調整引当金	16	13
固定資産	4,287	4,061	その他	51	53
有形固定資産	2,714	2,711	固定負債	904	860
建物及び構築物	588	599	退職給付引当金	166	145
土地	2,094	2,094	役員退職慰労引当金	178	123
その他	31	17	預り保証金	468	495
無形固定資産	37	43	長期前受収益	89	95
投資その他の資産	1,536	1,306	負債合計	2,224	2,150
投資有価証券	295	171	資本の部		
関係会社株式	114	57	資本金	989	987
長期貸付金	819	748	資本剰余金	983	972
繰延税金資産	79	115	利益剰余金	6,513	5,327
差入保証金	146	137	その他有価証券評価差額金	117	22
保険積立金	56	55	自己株式	△ 60	△ 112
その他	31	25	資本合計	8,544	7,197
貸倒引当金	△ 7	△ 6	負債・資本合計	10,768	9,348
資産合計	10,768	9,348			

単体損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)	(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)
経常損益の部		
営業損益の部		
売上高	10,100	9,761
売上原価	2,893	3,013
売上総利益	7,206	6,747
販売費及び一般管理費	5,006	4,608
営業利益	2,200	2,139
営業外損益の部		
営業外収益	223	127
営業外費用	31	40
経常利益	2,393	2,226
特別損益の部		
特別損失	50	55
税引前当期純利益	2,342	2,171
法人税、住民税及び事業税	1,008	928
法人税等調整額	△ 35	11
当期純利益	1,370	1,231
前期繰越利益	30	82
当期末処分利益	1,400	1,313

利益処分

(単位：円)

科 目	金 額	
当期末処分利益		1,400,450,686
これを次の通り処分いたします。		
利益配当金	230,284,500	
1株につき50円		
別途積立金	1,100,000,000	1,330,284,500
次期繰越利益		70,166,186

株式の状況

株式の状況 (平成17年3月31日現在)

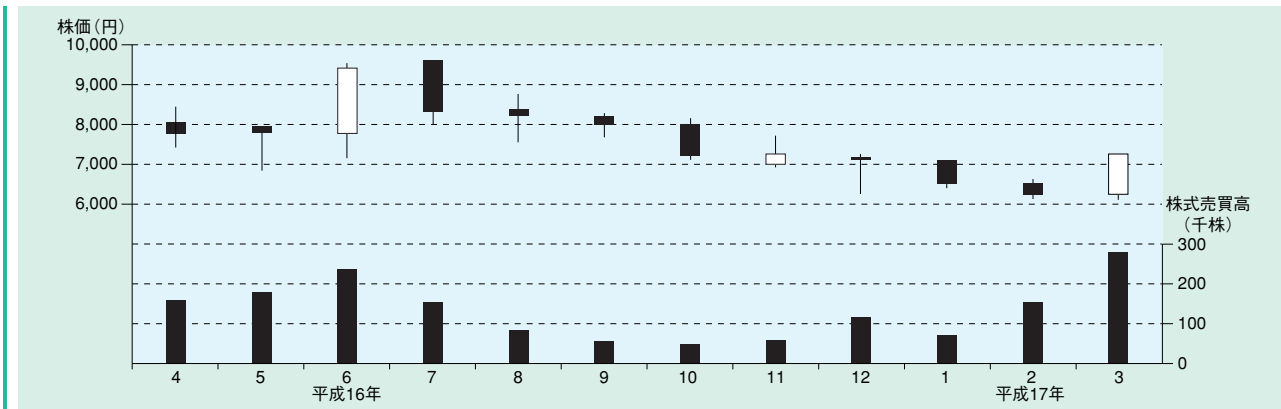
会社が発行する株式の総数 8,000,000株
 発行済株式の総数 4,622,390株

(注) 旧商法第280条ノ19第1項の規定に基づく新株引受権の権利行使により発行済株式の総数は5,000株増加いたしました。

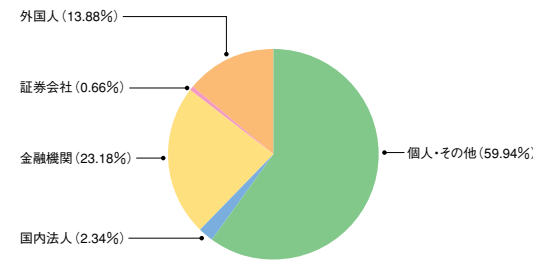
株主数 2,930名
 大株主

株主名	持株数	議決権比率
森 澤 紳 勝	1,875,290 株	40.7 %
野村信託銀行株式会社	322,500	7.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	304,900	6.6
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	178,200	3.9
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	130,250	2.8
バンク オブ ニューヨーク シシーエム クラ イアント アカウツ イー アイエスジー	94,350	2.0
メロン バンク トリーディー クライアーツ オムニバス	87,800	1.9
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー 505103	66,349	1.4
ビービーエイチ フォー フィデリティー ジャパン スモールカンパニー ファンド	65,600	1.4
株式会社フジウェル西日本	60,000	1.3

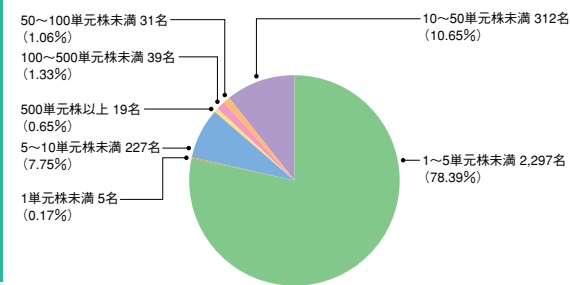
株価の推移



所有者別株式分布状況 (平成17年3月31日現在)



所有数別株主分布状況 (平成17年3月31日現在)



会社の概要

会社の概要 (平成17年3月31日現在)

商 号 株式会社日本トリム
 NIHON TRIM CO., LTD.
 本 社 大阪市北区大淀中一丁目8番34号
 設 立 1982年(昭和57年)6月12日
 資 本 金 989,831千円
 従 業 員 数 359名(関連会社含む)
 主 な 事 業 内 容 電解還元水整水器及びカートリッジ・
 家庭用電位治療器等の製造販売

役員 (平成17年6月29日現在)

代表取締役社長 森澤紳勝
 常務取締役 三谷禎秀
 常務取締役 香山昭人
 常務取締役 古閑信夫
 取締役 大坪一道
 取締役 猪股恒夫
 取締役 西谷由実
 取締役 平林真
 取締役 植木芳雄
 常勤監査役 森澤邦雄
 監査役 山口晃
 監査役 深見彰生

ネットワーク (平成17年6月29日現在)

本社 大宮営業所 岡山営業所
 東京支社 千葉営業所 山陰営業所
 名古屋支社 横浜営業所 高知営業所
 広島支社 新潟営業所 熊本営業所
 福岡支社 静岡営業所 鹿児島営業所
 札幌営業所 金沢営業所 高知開発部
 仙台営業所 京都営業所

トリムグループ (平成17年6月29日現在)

株式会社トリムエレクトリックマシナリー
 TRIMGEN CORPORATION
 株式会社機能水細胞分析センター
 株式会社トリムフィナンシャルサービス
 株式会社GIバイオポリス



本社



TEM